



平成29年1月20日

各 位

会 社 名 第一工業製薬株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 坂 本 隆 司
(コード番号 4461)
問合せ先 常務取締役財務本部長 浦 山 勇
(T E L 075-323-5955)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の動向を踏まえ、平成28年4月30日に公表した平成29年3月期連結（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,900	3,400	3,150	2,150	40.68
今回修正予想(B)	53,000	3,500	3,200	2,200	41.62
増減額(B-A)	△7,900	100	50	50	
増減率(%)	△13.0	2.9	1.6	2.3	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	52,782	3,439	3,200	2,198	41.64

修正の理由

景気が緩やかな回復基調のなか、基礎原料ナフサ価格は低水準で推移していますが、一方で、中東情勢の混迷、資源国や新興国経済の減速懸念など先行き不透明な状況も続いております。

売上高につきましては、上期の円高、原料価格下落に伴う販売価格の改定及び期待していた電子デバイス材料の主力製品である太陽電池用途の導電性ペーストの需要が激減するなど、前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

損益面につきましては、霞工場の本格稼働による製造経費の増加や営業経費の増加もありますが、『界面活性剤』や『樹脂材料』における高付加価値品の売上高が伸長し、また、基礎原料ナフサ価格の下げ止まりやコストダウンなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想値を若干上回る見込みとなりました。

以 上